

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援わおん		
○保護者評価実施期間	R6年12月17日		~ R7年1月18日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 35
○従業者評価実施期間	R7年1月6日		~ R7年1月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	R7年2月28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別にアセスメントを丁寧に行い、必要な支援を話し合い、お子さんの様子を保護者と共有することに取り組んでいる	わくわくタイムや活動終了時は活動内容を説明し、保護者と職員が具体的に伝えている	今後も継続していきたい
2	適切な支援をするために、毎朝、打ち合わせで今日の活動のねらい、流れを確認して取り組んでいる	活動の振り返りを行い、職員の対応の統一化をしている 支援計画の見直し時期には職員でカンファレンスを行い、振り返りと今後の課題を話し合っている	ご家庭と事業所と一緒に歩めるよう情報共有に努める
3	ヒヤリハットシートを記入して、職員で共有し、再発防止に向けている	毎月、職員会議で話し合いをし、対策を検討し、実行、評価、改善を行っている	今後も事業所内での情報共有と再発防止に向けた実践をチームで連携して取り組みPDCAサイクルを活用していく

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員で支援方法などを振り返り、共有・検討する時間が確保できない。	記録・準備・掃除などに追われ、振り返りや会議に割く時間が少なくなっている。	業務効率化による時間の確保 ・掃除の場所・タイミング ・記録内容の整理 など
2			
3			